

## コロナ禍を生きる子どもたちの実情と変化

10月14日に「多摩市長・教育長懇談会」が行われました。新型コロナウイルス感染対策のため、今回は初めてオンライン会議ツールのZoom上で実施しました。

コロナと向き合う生活も2年目に入り、家庭や教育現場では子どもの様子や抱える課題に変化が生まれてきているのではないのでしょうか？この度の懇談会ではそれぞれの家庭での子どもの実情を切に伝えながら今後の展望や疑問点、要望など具体的な現場の声を、市へ届けることができました。たくさんの方々の悩みや実情を共有し、子どもたちがコロナ禍をたくましく健全に育っていけるよう支えるためにはどうしたらよいか、考えるひとつのきっかけとなることを願っています。

### 多摩市長 阿部 裕行



新型コロナウイルスは科学的エビデンスを踏まえて、正しく恐れる事が重要です。2020年は一斉休校がありました。2021年は正しく恐れる観点に立ち、普通の授業、経験を学んでもらおうと尽力して参りました。感染第五波では子どもの感染も増え、ハンドリングは非常に困難でした。一方で多摩市ではワクチン接種が進み、12歳以上の接種対象者75%以上が2回接種を完了しました。今日は保護者の方々の思い・ご意見をお伺いし、色々な話をさせていただければと思っています。

### 多摩市教育委員会 教育長 千葉 正法



今年から教育長に就任致しました。2020年、一斉休校明けに校門の前で生徒が学校に通えることがうれしいと話してくれた事を忘れず日々仕事をしています。学校の存在価値、学校の意味が問われる今日、日々試行錯誤をしながら様々な取り組みを進めています。今日は保護者の方々の不安、質問をお伺いして、学校教育に活かしていきたいと思っています。学校での学びを止めない、誰一人取り残さない事を掲げて学校教育を進めて参ります。

### 令和3年度 小P連 会長校 多摩第二小学校 宮崎



小P連担当役員の方々を通じて事前アンケートを実施し、361件のご回答を得ました。アンケートは学習面、生活面、体力面、精神面の4分野で子どもの現状を聞きました。集計結果でとりわけ目立つのが、体力面が昨年よりも悪くなったという回答です。長きに渡る自粛で体力が落ちたお子さんが多いようです。学習面ではポジティブな傾向が見えましたが、自由記述ではオンライン授業や学習の遅れへの懸念など不安がたくさん見られました。懇談会ではこのアンケート結果とたくさんの方々の意見をふまえて3つのカテゴリーに分け学校ごとに意見、要望を市長と教育長に伝えました。

**多摩市立小学校 PTA 連絡協議会 (小P連) とは？** 多摩市内の各小学校からPTAの代表者(小P連担当)に出席していただき、年に数回会議の場を設け、子どもたちの学校生活をより良くする為に相互に協力し意見・情報交換・研究などを行う場です。

## テーマ① オンライン授業について

### 貝取小、永山小、西落合小、聖ヶ丘小、連光寺小から発表

#### <不安・課題>

- ・親も在宅勤務する状況でインターネット回線の有無と、通信が安定するか。
- ・低学年の子どもだけだと集中力が続かず、親が傍にいないと成立しない。共働き世帯で格差が出る可能性がある。
- ・対面学習を通じて育まれる能力の成長が十分得られるか。
- ・子どもがタブレットを壊してしまわないか。
- ・タブレットの使用頻度が増えると漢字が書けなくならないか。

#### <質問>

- ・ネットリテラシー、電子機器の扱いについて義務教育9年間での指導計画はあるか。
- ・東京都が定める「ファミリールール」を学校や市主導で教育してくれないか。

#### <その他>

- ・オンライン授業は不登校の子どもの受け皿に成り得る。
- ・オンライン授業が始まって良かったというポジティブな意見があった。
- ・オンライン授業の実施について専門家の支援を受けられると良い。それが先生の負担を減らす事に繋がる。
- ・コロナ禍に限らず登校して対面授業を受ける事と、オンライン授業を選択できるようにしてほしい。

### 阿部市長からご回答

オンライン授業で出来ること、対面授業が必要な事については、知事会、市長会等で課題認識されています。オンラインで単元認定を受けられるようにすべきという議論もなされています。コロナ禍の様な緊急時に限らず、自宅にいてもオンラインで授業に参加しているという対応が必要だと私も思っています。

子どもは地域で育まれるものだと思います。オンラインでは世界とのつながりを得る事ができる面もあります。エネルギー効率も含めて考えるべきで、どのように併存させるかは今後の課題です。何が子どもにとってベストで、どうしたらより楽しく学べるのか。ノーベル賞を受賞された真鍋さんが、協調、調和だけを重視する国では研究が進まないと発言なさいました。そうなのはお終いだと思っています。

### 千葉教育長長からご回答

オンライン授業はコロナ禍への一時的な対策ではなく、新しい時代を生きる子どもたちの為に適切な整備を行う事が必要です。学校現場のスキルは向上していますが、小さな児童が一人でオンライン授業はなかなか難しいと思います。発達段階に応じて何が可能なかを学校では判断して進めています。

オンライン授業ではネットリテラシー、コミュニケーション、集中力など、課題があると思います。ネットリテラシーについては義務教育9年間における指導計画があります。各校の先生、校長先生にご確認下さい。また各ご家庭でもそれぞれのご家庭のルールを教えてあげてほしいと思っています。

Wi-fi 機器は学校に問合わせて頂ければ貸し出すことが出来ます。但し搭載するSIMカードは各ご家庭での用意が必要です。

タブレットを壊してしまうというご不安については教育委員会で検討を進めています。具体的には保険の加入を検討しており、利用しやすい保険を探しています。

オンラインと登校とを選択できる授業について。ご自宅のネットワークに課題があるご家庭では児童に登校して貰い、別室で授業を視聴するという対策を既に行っています。

## テーマ② 今後の教育活動について

### 南鶴牧小、東落合小、大松台小、瓜生小、北諏訪小、多摩第一小から発表

<不安・課題>・授業時間の低減に伴い、子どもが授業を十分理解できているか。

- ・子ども同士の関わり、学年を超えた交流、放課後教室等が制限されており、精神面で適切な発達が出来ているか。
- ・家庭学習の重要度が増しており、共働き世帯で格差が生じないか。
- ・同年代の子どもで、私立小、塾に通う子どもとの格差がある。
- ・実技系の家庭科調理実習、音楽合唱等を通した心の豊かさが出来ていないのではないか。

<質問>・先生の負担を増やさずに授業の習熟が十分でない場合は補習等が受けられる方法を市側で検討いただけないか。

- ・宿泊研修など小学生の今しか体験できない事が中止になるのは良くない。子ども達の楽しみを奪わないでほしい。
- ・（北諏訪小で）プールを外部に委託したのは良かったという声があった。一方で夏休みのプールが無くなってしまうのか？
- ・授業時間の低減に伴い取り切れなかった単元はどう挽回していくのか？

<その他>・学校が工夫して行事を実施して下さっている事には感謝している。

- ・市から支給された図書カードを活用し、普段は買わない図鑑や本が買えた。再び給付があると助かる。
- ・目に見えないものに対する過剰な不安が不安症や差別的な気持ちを生み出しているのではないかと。
- ・行事の延期・中止の説明は例年以上に配慮してほしい。
- ・発達障害が原因でマスクを付けられない子どもが不登校になった実例がある。マスクを付けられないケースもあるという理解を広げてほしい。

### 阿部市長からご回答

移動教室や遠足をむやみに中止しないでほしいというのはその通りだと思います。一方で緊急事態宣言下ではやむを得ないケースもあります。多摩市はコロナウィルスを正しく恐れ、出来る事はやって来ました。例えば都の公園は閉鎖されましたが、多摩市の公園は閉鎖をしませんでした。市民を信頼して利用をお任せしました。図書館も最大限開館できるようにしてきました。

コロナウィルスに関する情報を正しく恐れるという観点で動画メッセージや広報でお知らせして来ました。感染対策として手指消毒、マスクは重要ですが、不要なところでは外しても良いと思います。多摩市としては医療体制に問題があると感じています。必要な方が入院できる体制を作るしかありません。

インターネットでは偏った情報を手にする事はあり得るもので、その特性を子どもに限らず大人も理解する必要があります。

図書カードの給付について、衆議院総選挙後予算編成を踏まえて、多摩市として最も重要な事を調査の上検討します。

### 千葉教育長長からご回答

小学校低学年は850時間、6年生は980時間が学習の年間基準です。多摩市では余裕を持ってカリキュラムが組まれています。習熟が十分でない場合の対応は来月の校長会で呼びかけます。学力の定着に向けて教育委員会として施策を練ります。

学校行事の延期、代替行事の検討は各校長先生に配慮していただいています。年間カリキュラムの都合で時期を逸するとどうしても実施できなくなるものもあります。丁寧に保護者・児童に伝える必要があると思います。

実体験、実習が大切な教科については感染リバウンドがなければ実施できる範囲を広げていきたいと考えています。油断から感染が広がる結果は避けなければいけません。慎重さをもってこどもの活動を保証できるようにしたいです。

アンケート結果で体力の低下を懸念するものがありました。体力増進は体育の授業の充実、遊びの時間に体を動かすことを前提に進めていきたいと考えています。プール指導は試行段階です。保護者、先生の意見を取り入れながら今後の在り方を十分検証して判断したいと思っています。

コロナウィルス感染対策では、子どもの人権を大切にすることが大原則です。コロナ対策がはじめにつながらないよう、各学校でも対策を実施していますが、もし何か気付いた点、事例があればすぐ学校、教育委員会にお知らせください。

## テーマ③ 学校環境、学校生活について

### 諏訪小、豊ヶ丘小、多摩第二小、多摩第三小、東寺方小から発表

- <不安・課題> 新1年生の保護者からは学校の様子が分からないという声がある。学校公開や交流イベントを再開してほしい。
- <質問> ・学校での感染者公表が無く、家庭では状況が分からない。感染の拡大を広げない為に情報共有体制を整えてほしい。
- ・1クラス40人学級は多いと感じる。調整出来ないか。
  - ・八王子市では実施されていた学校開放や放課後子ども教室が多摩市では緊急事態宣言を理由に実施されなかった。多摩第三小ではプールが各学年2回という制限があった。近隣校、近隣市と足並みをそろえる事は出来ないか。
  - ・（二小では）トイレの業者清掃が月2回ある。子どもの校内清掃が十分できない今、回数を増やせないか。
  - ・給食を向かい合って食べられるようアクリル板を用意できないか。
  - ・学校でPCR検査を実施できないか。
  - ・行事のライブ配信を行う際、先生の負担を減らすため専門業者を派遣できないか。
- <その他> ・コロナ対策に伴う先生の負担が増えている。先生の働き方改革に取り組んでほしい。
- ・（三小）水鉄砲で鬼ごっこ、手袋をしてボール遊びなど、感染予防対策をして楽しく遊べる工夫への感謝の声があった。
  - ・紙マスクは経済的負担が大きい。マスク購入による家庭の負担軽減を願っている。
  - ・防犯対策について、しっかり実施してほしい。

### 阿部市長からご回答

事業所でクラスター感染発生した場合は事業所と連携して多摩市ホームページに情報をアップしています。家庭内での感染はあったが、学校でクラスターが起きた事は過去ありませんでした。多摩市の感染に関する情報は多摩市ホームページ、YouTubeで（阿部市長）私自身が発信してきました。クラスターが発生した場所はリンクが掲載されています。学校ではクラスターが無かったという事で、正しく恐れる観点で対応をしています。

アクリル板のご要望については各学校の校長から意見を聞いて対応方法を検討します。

多摩市は独自でPCR検査の枠組みを持っています。保健所の濃厚接触指定者に限らず独自に実施しています。政府配布の抗原検査キットと併せて感染拡大時には対策を検討します。

先生の応援については教育委員会と連携し、予算面で応援します。

学校開放、放課後子ども教室等について、緊急事態宣言下では中止してきました。既に緊急事態宣言は解除されたので、元の状態に早く戻せるように努力します。

### 千葉教育長長からご回答

まずは保護者の皆様に感謝申し上げます。日々児童の体調把握に協力いただいています。学校をねぎらう声をいただきましたが、保護者の方々のご協力が学校でクラスターが発生していない大きな要因になっていて、引き続きご協力をお願いします。学校でクラスターが発生した場合、保護者へのお知らせが必要と理解しています。一方で同時に児童が特定されることへの配慮も必要で、バランスが必要です。クラスター発生の場合には各校一律のルールを課しています。

学校開放については校長会からも緊急事態宣言の間は縮小または未実施と市に依頼してきました。市内に限らず市街・広域から人々が学校に集まる可能性があり、状況を把握しきれない為です。今後は拡大を検討したいと思っています。

アクリル板について、各学校に予算を配当しています。各校はコロナ対策の物品購入をすることができます。保護者の方々から各校に率直な意見をお伝えいただきたいです。多摩市はワクチンの接種が順調に進んでいて、安定的な教育活動が行えると見えています。引き続き保護者からの意見・要望を取り入れながら各校の校長に働きかけて参ります。40人学級についてはご意見として受け止めました。国の基準、東京都の教員配置などの兼ね合いもありますが、多摩市教育長として可能なタイミングで申し上げます。